

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成24年6月21日(2012.6.21)

【公表番号】特表2011-527286(P2011-527286A)

【公表日】平成23年10月27日(2011.10.27)

【年通号数】公開・登録公報2011-043

【出願番号】特願2011-508667(P2011-508667)

【国際特許分類】

C 07 D 471/06	(2006.01)
A 61 K 31/4375	(2006.01)
A 61 K 31/5377	(2006.01)
C 07 D 471/16	(2006.01)
A 61 P 43/00	(2006.01)
A 61 P 27/06	(2006.01)
A 61 P 27/02	(2006.01)
A 61 P 25/00	(2006.01)
A 61 P 9/10	(2006.01)
A 61 P 25/02	(2006.01)
A 61 P 25/04	(2006.01)
A 61 P 29/02	(2006.01)
A 61 P 25/06	(2006.01)
A 61 P 1/04	(2006.01)
A 61 P 21/00	(2006.01)
A 61 P 3/10	(2006.01)
A 61 P 9/04	(2006.01)
A 61 P 9/06	(2006.01)
A 61 P 11/06	(2006.01)
A 61 P 11/00	(2006.01)
A 61 P 17/02	(2006.01)

【F I】

C 07 D 471/06	C S P
A 61 K 31/4375	
A 61 K 31/5377	
C 07 D 471/16	
A 61 P 43/00	1 1 1
A 61 P 27/06	
A 61 P 27/02	
A 61 P 25/00	
A 61 P 9/10	
A 61 P 25/02	
A 61 P 25/04	
A 61 P 29/02	
A 61 P 25/06	
A 61 P 1/04	
A 61 P 21/00	
A 61 P 3/10	
A 61 P 9/04	
A 61 P 9/06	
A 61 P 11/06	

A 6 1 P 11/00

A 6 1 P 17/02

【手続補正書】

【提出日】平成24年5月1日(2012.5.1)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

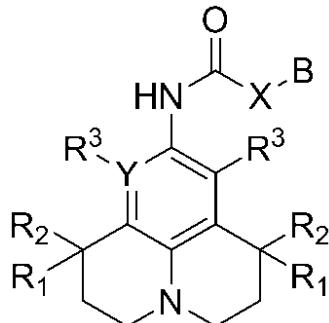
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

下記構造式で表される化合物、又はそのエナンチオマー、又は異性体、又は医薬的に許容され得る塩:

【化1】



(式中、

YはC又はNであり；Xは、O、S、又はNR^Nであり；R^Nは、水素又はC₁₋₆アルキルからなる群より選ばれ；

Bは、C₁₋₆アルキル、C₁₋₆アルケニル、又はF、Cl、Br又はIの少なくとも1つのハロゲン原子を置換基として有するC₁₋₆アルキルであり；

R³は、水素又はC₁₋₆アルキルであり；R₁は、各々独立して、水素、又はC₁₋₆アルキルであり；R₂は、各々独立して、置換された又は置換されていないフェニルである)。

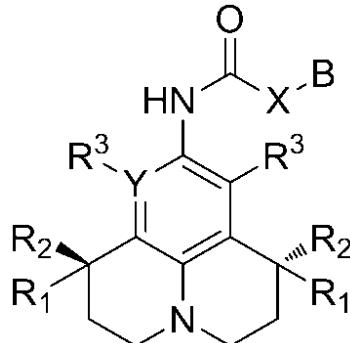
【請求項2】

R₂が、フェニル、4-クロロフェニル、3-トリフルオロメチルフェニル、3-フルオロフェニル、4-トリフルオロメチルフェニル、4-フルオロフェニル、3-クロロフェニルおよび3-メチルフェニルからなる群より選択される、請求項1記載の化合物。

【請求項3】

下記構造式で表される、請求項1に記載の化合物:

【化2】



(式中、X、B、Y、R₁、R₂およびR³は請求項1において定義したとおりである)。

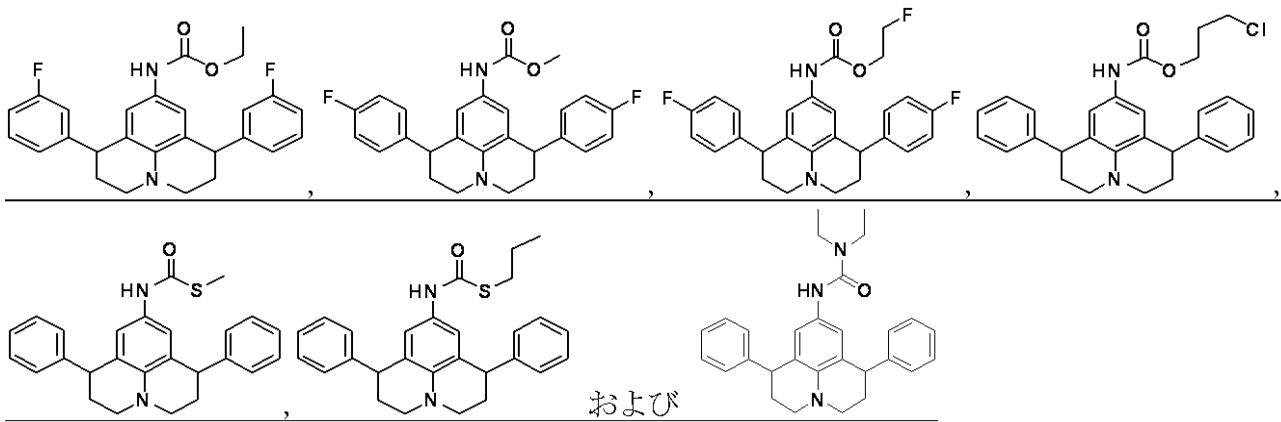
【請求項4】

(+) - エナンチオマーである、請求項1に記載の化合物。

【請求項5】

下記化合物からなる群より選ばれる請求項1に記載の化合物：

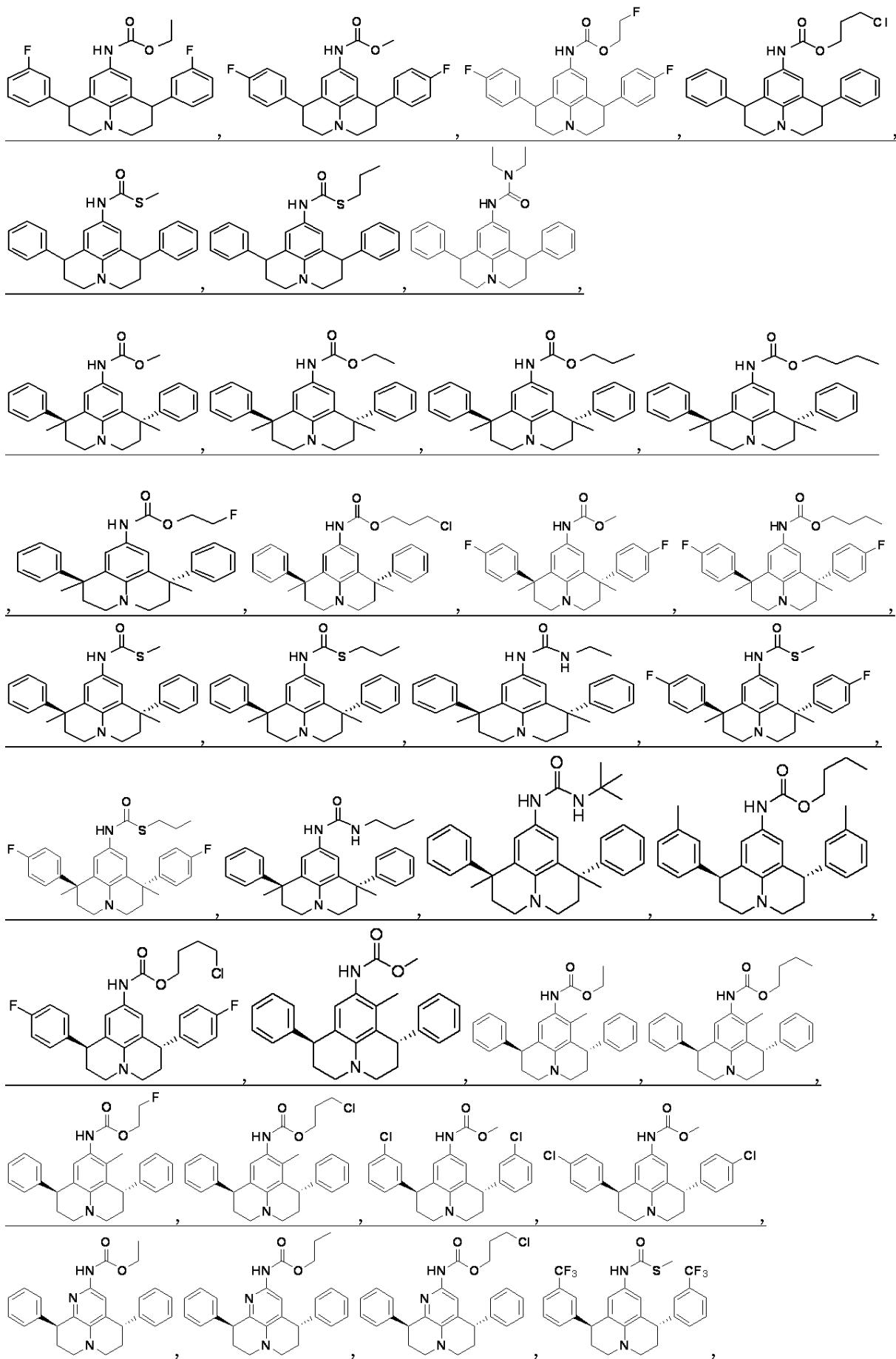
【化3】

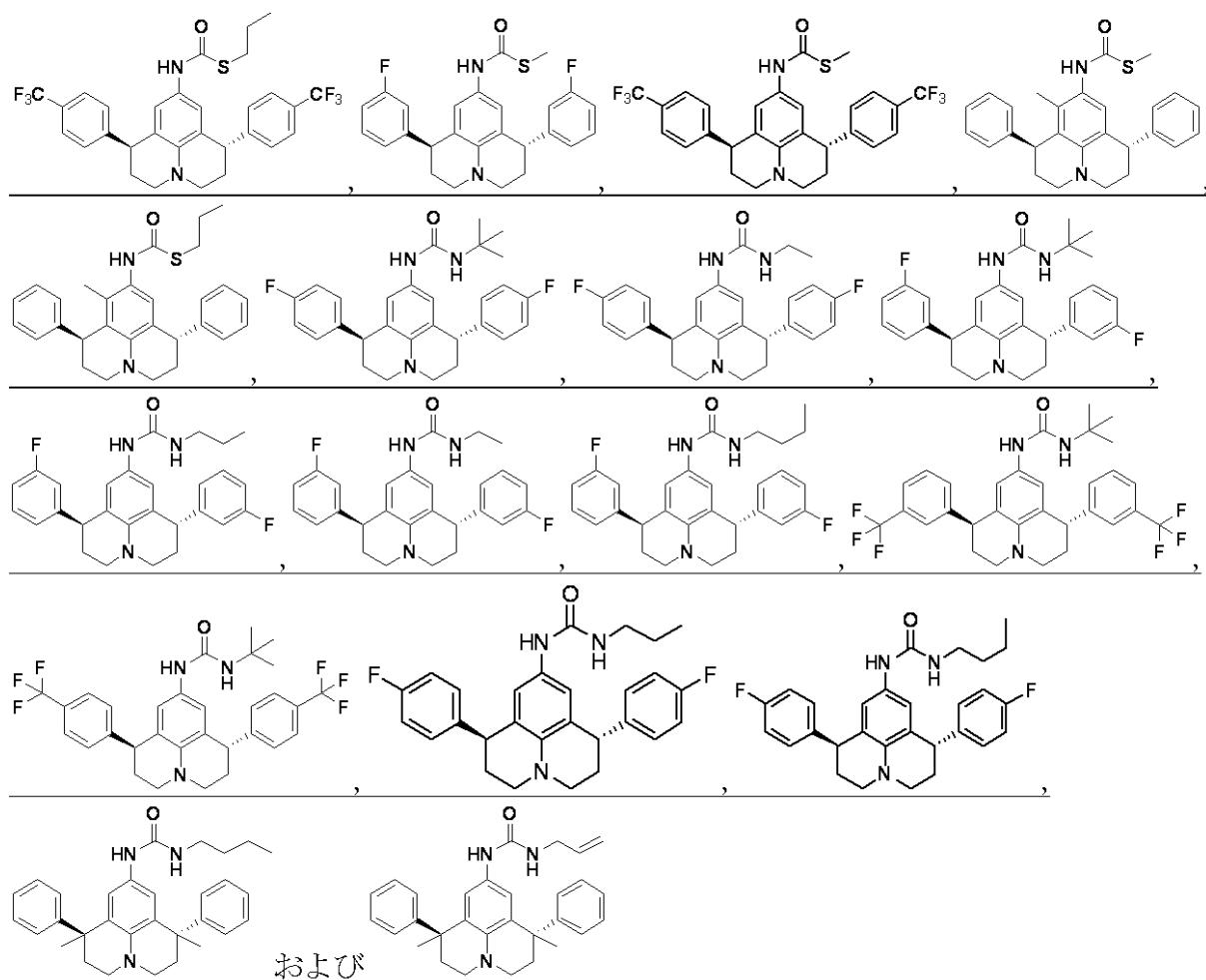


【請求項6】

下記化合物からなる群より選ばれる、請求項1に記載の化合物：

【化 4】





【請求項 7】

下記の定義を有する、請求項 1 に記載の化合物：

YがC又はNであり；

Xが酸素であり；

BがC₁₋₆アルキル又はC₁₋₆ハロアルキルであり；

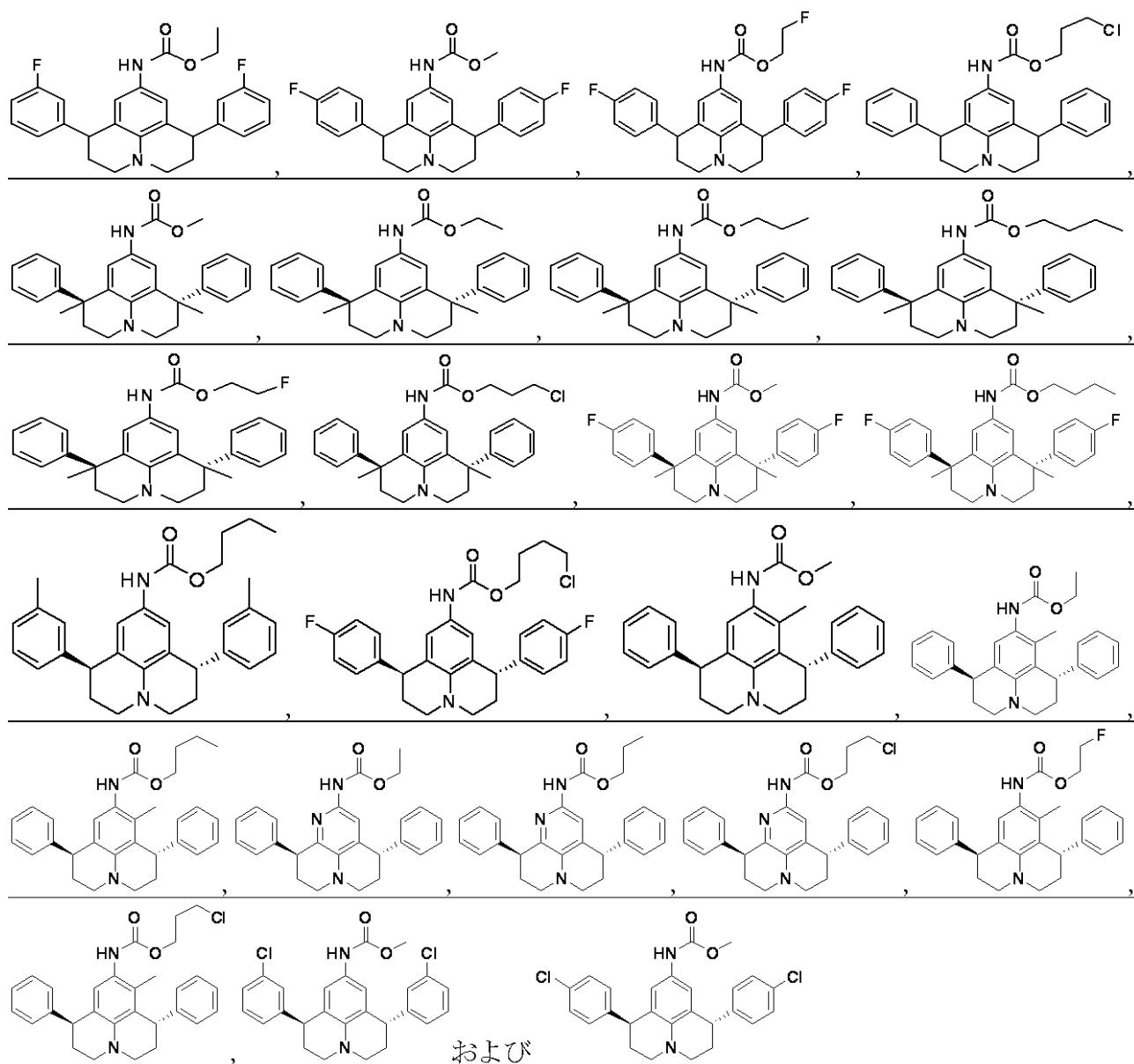
R³が水素原子又はC₁₋₆アルキルであり；

R₁は各々独立に水素原子又はC₁₋₆アルキルであり；

R₂は各々独立に置換された又は置換されていないフェニルである。

【請求項 8】

下記化合物からなる群より選ばれる、請求項 7 に記載の化合物：



【請求項 9】

下記定義を有する、請求項 1 に記載の化合物：

YがCであり；

Xが硫黄であり；

BがC₁₋₆アルキルであり；

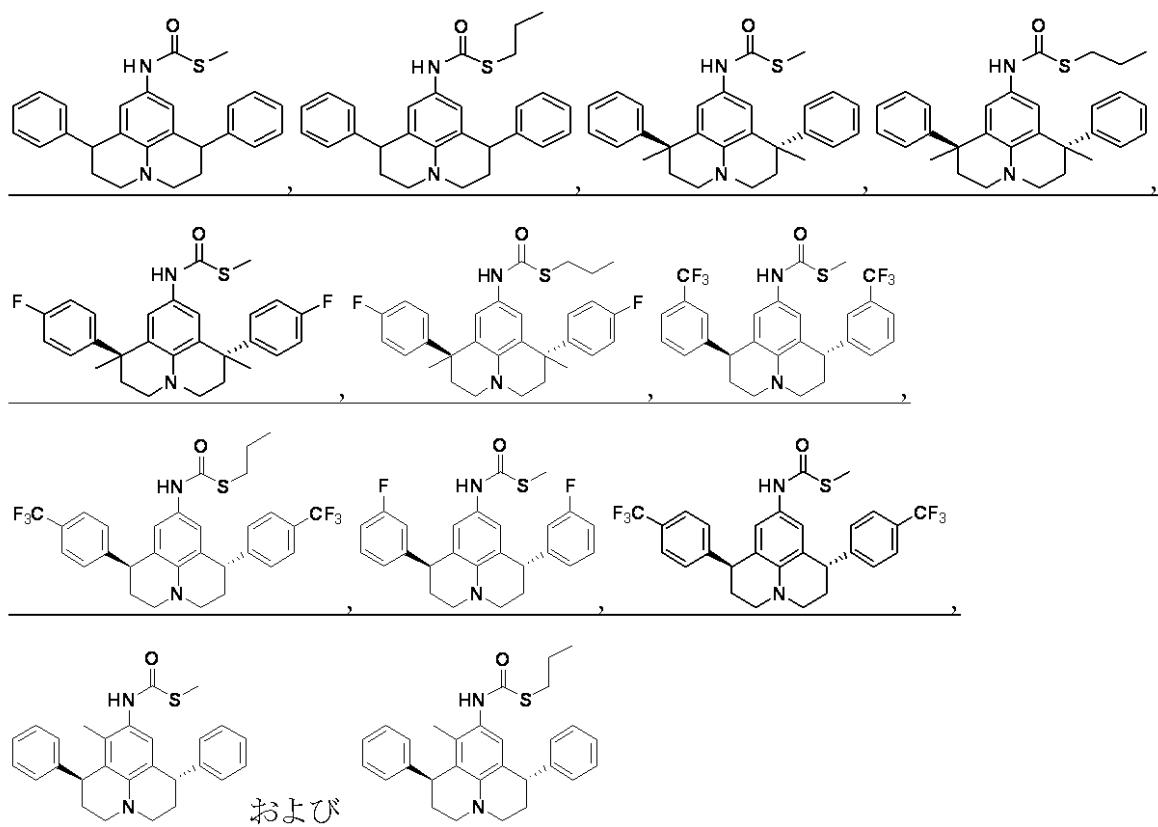
R³が水素原子またはC₁₋₆アルキルであり；

R₁が各々独立に水素原子又はC₁₋₆アルキルであり；

R₂は各々独立に置換された又は置換されていないフェニルである。

【請求項 10】

下記化合物からなる群より選ばれる、請求項 9 に記載の化合物：



【請求項 1 1】

下記定義を有する、請求項 1 に記載の化合物：

YがCであり；

XがNR^Nであり；

R^N が水素原子又はC₁₋₆アルキルであり；

BがC₁₋₆アルキル又はC₁₋₆アルケニルであり；

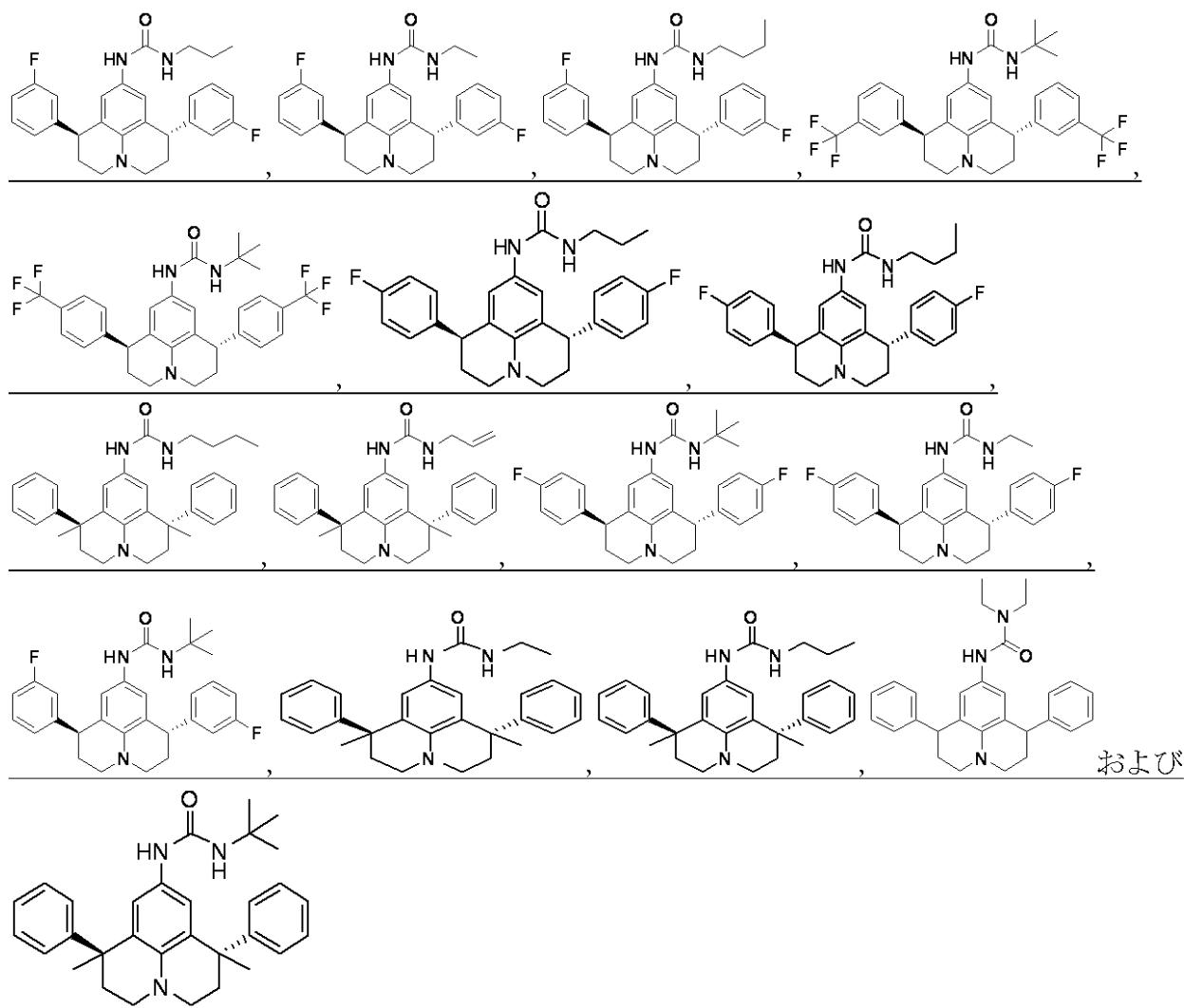
R³ が水素原子であり；

R₁ が各々独立に水素原子又はC₁₋₆アルキルであり；

R₂ は各々独立に置換された又は置換されていないフェニルである。

【請求項 1 2】

下記化合物からなる群より選ばれる、請求項 1 1 に記載の化合物：



【請求項 1 3】

哺乳動物においてスフィンゴシン-1-ホスフェート3 (S1P3)受容体によって仲介される疾患又は状態の治療用薬剤の製造における請求項1に記載の化合物の使用。

【請求項 1 4】

疾患又は状態が、緑内障、高眼圧、虚血性神経障害、視神経症、疼痛、内臓痛、角膜痛、頭痛、偏頭痛、癌疼痛、背痛、過敏性腸症候群疼痛、筋肉疼痛、糖尿病性神経障害に伴う疼痛、糖尿病性網膜症、網膜変性疾患、ドライアイ、血管形成、未熟児網膜症、糖尿病性網膜症、視神経症、緑内障性網膜症、黄斑変性、脈絡膜血管新生、眼創傷癒合、網膜浮腫、鬱血性心不全、心不整脈、アテローム性動脈硬化症、徐脈、喘息、慢性閉塞性肺疾患、急性肺損傷、急性呼吸困難症候群、特発性肺線維症、人工呼吸器誘発肺損傷、瘢痕のない創傷治癒、瘢痕のない皮膚創傷及び美容的治癒からなる群より選ばれる、請求項1_3に記載の使用。

【請求項 1 5】

哺乳動物がヒトである、請求項1_4に記載の使用。